

■現代かなづかいの記載の手引き

注：送りがなについて___アンダーラインは注意して送るもの、○印は送らないもの、□は文章の意味によって使い分ける。

分類	用語	使う字	使わない字, 備考	分類	用語	使う字	使わない字, 備考		
ア	あかるい	明るい	明い	エ	えがく	描く	画く		
	あきらかに	明らかに	明かに		えらぶ	選ぶ			
	あげる	上げる	上る		える	得る		(get)→うる	
	あたためる	→加温する			オ	おおう	覆う	被う	
	あたる	当たる	当る			おおきい	大きい	大い	
	あたらしい	新しい	新⑤しい			おおむね	おおむね	概ね	
	あてる	当てる	当る			おこなう	行う	行⑤う	
	あつかう	扱う	扱④う			おこる	起こる	起る	
	あつめる	集める	集る			おそれ	おそれ	恐れ, 虞れ	
	あらかじめ	あらかじめ	予め			おだやかに	穏やかに	おだやかに	
	あらたに	新たに	新⑤たに			おとし	落とし	落し	
	あらためる	改める				おのおの	各々	おのおの	
	あらわす	表(現)す	表(現)わす 表→表面に出し 示す. 著わす. 現→かくさずに 示す.			おのずから	おのずから	自ら	
	あらゆる	あらゆる	全る			おびる	帯びる		
	ある	ある	在る 有る			おもな	主な	おもな	
あるいは	あるいは	或は	およそ	およそ		凡そ			
あわ	あわ	泡	および	および		及び			
あわす	合わす	合す	おわる	終わる		終る			
イ	いう	いう	言う	カ	かえす	返す	返④す		
	いくぶん	いくぶん	幾分		かえて	かえて	却て		
	いづれ	いづれ	何れ		かかわらず	かかわらず	拘らず		
	いちじるしい	著しい	著③しい		かくはんする	攪拌する	かき混ぜる		
	いっかねん	一カ年	1箇年, 一ヶ年		かける	欠ける	欠る		
	いっそう	一層	いっそう		かさねる	重ねる			
	いったん	一端	いったん		かじょう (りょう)	過剰	過量		
	いって	いって	行って		かつ	かつ	且つ		
	いる	いる	居る		かつしよく	褐色	かつ色		
	いる	入る			かならず	必ず	必⑤ず		
	いれる	入れる	入る		かねる	兼ねる	兼る		
	いわゆる	いわゆる	所謂			(○○から作る. △△から再結晶.) よりは使わない.			
	ウ	うしなう	失う			がらす	ガラス	硝子	
		うすい(物)	薄い		薄④い	かわる	代わる	代る(代理・代人 など)	
		うすい(色)	うすい			かわる	変わる	変る(うつりかわ る, 変化)	
うすめる		希釈する	薄める	カ月	カ月	箇月			
うちに		うちに	内に, 中に	10カ所	10カ所	10ヶ所, 10箇所			
うながす		促す	促④す	キ	きしゃく	希釈			
うる		うる	得る (can or may) →える		きめる	決める	決る		
うるおす		潤す	潤④す						

分類	用語	使う字	使わない字, 備考
キ	きょうぎつ きりあげ きわめて	夾雑 切上げ 極めて	混在 切りあげ きわめて
ク	くふう くらい くらべる くりかえす くみあわせ	工夫 くらい 比べる 繰返す 組合せ	くふう 位 比る 繰返②す 組み合わせ
ケ	けいれん けんたく	痙攣 懸濁	けいれん けんたく
コ	こえる こげる こころみる こたえ こたえる こと ごと ことなる この こまかい (洗い)こむ これら こんせき	超える 焦げる 試みる 答え こたえる こと ごと 異なる この 細かい (洗い)込む これら 痕跡	越える 焦る 試る 答(表中) 応える 事 毎 異なる 此の 細い 此等, これ等 こん跡
サ	さきに さける さげる さしこむ さら さらに ざんさ	先に 避ける 下げる さし込む 皿 さらに 残渣	さきに 避る 下る 挿し込む(挿入) さら 更に 残留物
シ	しがたい しげき したがう したがって しばしば しぶい しまう しめす しめる しゃこう しやすい じゅうぶん	し難い 刺激 従う したがって しばしば 渋い しまう 示す 湿る 遮光 しやすい 充分, 十分	刺戟 したがう 従て 屢々 しぶい 了う, 終う 湿⑥る しゃ光 し易い, 仕易い じゅうぶん

分類	用語	使う字	使わない字, 備考
シ	しゅうまつて ん しゅうれんせい い しょうじる じょうりゅう じょじょに しらべる しんとう	→終点 収斂性 生じる 蒸留 徐々に 調べる 振とう	終末点 収れん性 生ずる 蒸溜 調る 振盪, ふりませ →振り混ぜる
ス	すくない ずつ すてる すでに すべて すみやかに	少ない ずつ 捨てる 既に すべて 速やかに	少い 宛 捨る すでに 総て, 凡て, 全て すみやかに
セ	せん せんじょう	栓 洗浄	せん, セン 洗滌
ソ	そう そうにゅう その そのほか それぞれ	沿う 挿入 その そのほか それぞれ	そう入 其の 其の他 夫々
タ	だいたい たいてい たえず たくわえる たがいに たしかめる だす ただ ただし ただちに たとえば ために たんぱくしつ	大体 大抵 絶えず 貯える 互いに 確かめる だす ただ ただし 直ちに 例えば ために 蛋白質	だいたい たいてい 絶ず 保存する, たくわ える たがいに 確める 出す 唯, 只 但し 直に たとえば 為に たん白質, タンパ ク質
チ	ちいさい ちかづく ちようど ちよっと	小さい 近づく ちようど ちよっと	小い 近付く, 近づく 丁度 一寸
ツ	ついて	ついて	就いて, 付いて

分類	用語	使う字	使わない字, 備考
ツ	づつ つぎに つける つめる つねに	ずつ 次に 付ける 詰める 常に	宛 つぎに
テ	ていする できる	呈する できる	出来る
ト	とおり とき ときどき とくに ところ ともせん ともなう ともに とりあつかい	とおり とき 時々 特に ところ 共栓 伴う ともに 取扱い	通り 時 ときどき 所 共せん 伴④う 共に 取⑤扱い
ナ	ないし なお なかば ながら なづける など ならびに なるべく	ないし なお 半ば ながら 名付ける など ならびに なるべく	乃至 尚 中ば 乍ら 名づける 等 並びに 成べく, 成可く
ニ	にかわ状 にごる にそう にゅうばち	にかわ状 濁る 二層 乳鉢	膠状 2層 乳ばち
ヌ	ぬぐう ぬらす	ぬぐう ぬらす	拭う 濡らす
ネ	ねんちょう	粘稠	
ノ	のぞく のちに のべる のり	除く 後に 述べる のり	のちに 述る 糊
ハ	はかり はかる はじめて	はかり 量る 初めて	秤 測る, 計る→当用漢字 初て

分類	用語	使う字	使わない字, 備考
ハ	はじめの はじめる はやい はんでん	初めの 始める 速い 斑点	はん点
ヒ	ひとしい ひとつ ひとつづつ びん	等しい 一つ 一つずつ びん	瓶, ビン
フ	ふくざつ ふただび ふりまぜる ふれる	複雑 再び 振り混ぜる 触れる	振混ぜる 触る
ホ	ほか ほど ほとんど ほぼ	ほか ほど ほとんど ほぼ	他, 外 程 殆んど 略々, 略ぼ
マ	まぜる ますます また 又は まだ まで まま まひ	混ぜる ますます また または まだ まで まま 麻痺	混る 益々 又, 亦, 復 未だ 迄 儘 麻ひ
ミ	みがく みたす みとめる みなす	みがく 満たす 認める みなす	磨く 満す, 充たす 認る 見なす, 見做す
ム	むしろ むずかしい むすぶ	むしろ 難しい 結ぶ	寧ろ 六ヶ敷しい 結⑦ぶ
メ	めずらしい めんどう	珍しい めんどう	珍しい 面倒
モ	もえる もし もしくは もちいる もちろん もともと	燃える もし もしくは 用いる もちろん 最も	燃る 若し 若しくは 用る 勿論

分類	用語	使う字	使わない字, 備考
モ	もっぱら	専ら	もっぱら
	もどす	戻す(もどす)	
	もとに	下に	許に
	もとづく	基づく	基く
	もの	もの	物, 者 → 当用漢字 にある
	もる	漏る	
ヤ	やすい	やすい	易い
	やはり	やはり	矢張り
	やむをえず	やむを得ず	止むを得ず
	やや	やや	少々
	やわらかい	柔らかい	柔い, 軟かい
ユ	ゆえ	ゆえ	故
	ゆく	行く	
ヨ	よい	よい	良い, 好い
	ように	容易に	

分類	用語	使う字	使わない字, 備考
ヨ	ようす	様子	ようす
	ように	ように	様に
	ようやく	ようやく	漸く
	ようゆう	→融解	熔融
	よる	よる	依る, 因る
	より	よる	依る, 因る
		(比較するとき用いる. 例: ○○より△△が大きい)	
リ	りゅうぶん	留分	溜分
	りんぱ	リンパ	淋巴 りんぱ
ロ	ろう	ろう	蠟(正名はロウ)
	ろうと	漏斗	
	ろかする	ろ過する	汙過する
ワ	わかる	わかる	分る, 判る, 解る
	わかる	分ける	分る
	わずかに	僅かに	わずかに
	わたって	わたって	互って

(国立医薬品食品衛生研究所報告より引用)